



医療福祉・在宅看取りの地域創造会議 通信 第40号

(H28/10/6)



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。
 9月の中旬ごろから雨の多いうっとおしい天気が続いていますが、みなさま体調はいかがでしょう？
 10月1日 JR商業施設「ピエラ大津」がリニューアルオープンしました。レストラン・簡易宿泊施設・カフェなどおしゃやかな空間になっています。
 今までのイメージから一新された大津駅、今週末は 大津祭でにぎわいそうですね。



第49回ワーキング会議(9/29) 滋賀県庁 5A会議室

初参加6名を含む 30名で行いました。
 〈参加職種：医師・病院看護師・訪問看護師・保健師・薬剤師・鍼灸マッサージ師 学生・行政〉
 講演を聞いて感じたこと、印象に残ったこと
 ～自分たちの日々の活動と重ね合わせ看取りの考え方について深めよう～



- ・永田さんの人となり「旅」にあらわれている。
- ・「旅」に出て病院の外の空気に触れることが大切。
- ・大変な状況でもたくさんの友人にかこまれ、楽しく生きられたことはうらやましいし、友人たちも「自分の使命」を見つけたのでは？
- ・友人が看取りまでかわかり、専門職以外が支えているしみをサポートすることが自然であると感じた。
- ・永田さん自身生前ボランティアをしてきた。「人は生きたように死ぬ」(ヴォーリスホスピス) 人と人をつないできた生き方があらわれている。
- ・自分の病気をオープンにすることで人が集まってきてくれたのでは？
- ・ネットワークSNSの活用で会ったことのない人と繋がり助けられ過ごした療養生活がすばらしい。
- ・周りの人をうまく頼ることで助けてもらえやすい状況をつくる永田さんのうまさや人柄。
- ・ヴォーリスホスピスもすごいと思う。
- ・亡くなる間際まで、相当しんどそうなきまで、会いに来た人との面会を拒まなかった永田さんの生き方がすごいと思った。
- ・余命告知以上に生きたのは、本人の希望を聞きながらだったからこそ生きる力が出てきたのでは？
- ・若年性認知症と診断された方の記憶がある間に記録として残すお手伝いをしたいという堀江さんの考えは、家族にとってもいいと思う。



永田さんの生き方、がんと告知されてからの過ごし方を聞いて、誰にでもできることではないのだろうけど、自分もそのように生きていきたいなと思った話でした。友人側からの療養・看取りのお話は、医療福祉関係者には貴重な時間となりました。ありがとうございました。



次第

- ☆あいさつ・報告・連絡事項
- ☆〇 情報提供
「～がんになってもこんなに楽しく生きられる～
がんと旅する飛び出し坊や 永田純子 著」
堀江昌史さん・坂本彩さん
- 〇グループワーク
講演を聞いて感じたこと、印象に残ったこと
～自分たちの日々の活動と重ね合わせ看取りの考え方について深めよう～

滋賀の医療福祉を守り育てる

県民フォーラム

平成28年11月26日(土) 13:00～16:30
 ピアザ淡海 ピアザホール

☆記念講演
 『自分らしく生きるということ』
 歌手・モデル 麻倉ケイトさん



☆啓発劇
 『(仮)がんになっても自分らしくきらめきたい』
 ～家族・仲間を支える看取り～

他

祝！ 50回記念 ワーキンググループ会議

平成28年10月27日(木) 18:30～
 滋賀県庁 5A会議室

〇情報提供
 「仮 ICTを活用した在宅医療推進の取り組み」
 滋賀県医師会 本多 朋仁医師



医療福祉・在宅看取りの地域創造会議
 運営事務局
 (滋賀県庁 医療福祉推進課内) 貝沼・橋本
 TEL:077-528-3581
 FAX:077-528-4851
 E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

